



—初級ファシリテーター養成講座開講—

(特非) CNCPサポーター インフラメンテ研究会
(特非) 社会基盤ライフサイクルマネジメント研究会理事

足立 忠郎

CNCP インフラメンテ研究会ではファシリテーターや協働コーディネーター養成を目指した活動を開始した。

1. 講座の主旨

インフラメンテナンス国民会議 市民参画フォーラムにおいては、「日常的に市民と行政がインフラメンテナンスに関わっている」ことを目標に活動している。下部組織のWG-2「協働コーディネートWG」では、①インフラメンテナンスに関わる協働を全国へ展開する実施計画の作成、②ファシリテーターの養成、③協働におけるプラットフォームの構築に関する活動を開始した。上記活動の一環として、「初級ファシリテーター養成講座」を開催したので報告する。

2. 第1回初級ファシリテーター養成講座の概要

- ・日時：2018年9月4日（火）12：30～16：30
 - ・会場：東京都市大学 渋谷サテライトクラス
 - ・講師：世古一穂（NPO 研修・情報センター代表理事、元金沢大学大学院教授、CNCP 理事）
 - ・参加者数：16名（民間：7名、官庁：1名、大学：5名、NPO：3名）
 - 主催：インフラメンテナンス国民会議
 - 共催：シビル NPO 連携プラットフォーム
 - 後援：土木学会 教育企画・人材成委員会
 - 協力：社会基盤ライフサイクルマネジメント研究会
公益社団法人 日本ファシリティマネジメント協会
- ※土木学会認定 CPD（継続教育）プログラムである。

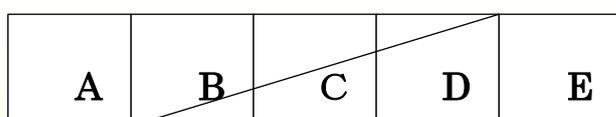
3. 初級ファシリテーター養成講座の内容

最初に、アイスブレイキングを行った。アイスブレイキングとはワークショップの最初に行う、初対面の緊張感（アイス）を一気に壊して（ブレイク）いくゲームである。誕生日順に出席者が1列に並び、その順番でチーム分けを行った。メンバーが互いの誕生日を確認する過程で、自然と場が和んでいくことを感じた。

世古講師から、「参加のデザイン」「協働コーディネーター・ファシリテーター」「市民参加の8つのはしご」などについて具体的な説明を受けた。市民参加の形態として、現状はお知らせや意見聴取などの「形としての市民参加」が多く、「市民の力が活かされる市民参加」までは至っていないという状況を理解した。

講義の内容の中から受講生の関心が高かった「市民セクターと行政セクターの諸相」について紹介する。

市民セクターと行政セクターの諸相の概念図



- A) 市民セクターが主体的に活動を行う領域
- B) 市民セクターが主となり、行政セクターが支援する形で協働する領域

- C) 行政セクターと市民セクターが対等の責任で協働する領域
- D) 行政セクターが主となり、市民セクターが支援する形で協働する領域
- E) 行政セクターが主体的に活動を行う領域

協働領域は図のように5つに分けられるが、NPOと行政の「協働」とは行政が一方向的に”支援”するのではなく、互いに支援し合う仕組みであることを理解した。

グループワークの最初のテーマは「Wish Poem」。インフラメンテナンスの望ましいイメージについて、各メンバーが1行の詩を作成し、次にチームごとに各メンバーの詩を繋ぎ合せて一つの詩を完成させた。作業を通じてメンバー間で、課題の抽出、数回の合意形成、情報共有を行うことができた。

二番目のテーマでは、ワークショップやファシリテーターに関する疑問点をチームごとにまとめた。写真のように、3階層程度に構造化することがポイントである。構造化の作業を通じて他のメンバーの考えを理解し合意することができ、チームの考えをワークシートにわかりやすく表現することができた。



講義の様子1



講義の様子2



グループワークの様子



階層化されたワークシート

4. まとめ

受講者からは、「住民と行政の関係の話は、目からうろこでした。」「上のレベルの講座に興味がある。」などの声が聞かれた。

協働の考え方や、ファシリテーターの技能は1度講座を受講しただけで習得できるものではない。初級ファシリテーター養成講座の習得目標レベルは毎回同一であるが、内容が毎回異なるため複数回受講しても新鮮な感覚で受講できる。より深く学びたい方や、十分に内容を消化しきれなかった方へは複数回の受講をお勧めしている。また、より高いレベルの講座開催も計画している。

5. 開催実績と今後の予定

第2回初級ファシリテーター養成講座：11月2日（金）開催済

第3回初級ファシリテーター養成講座：12月14日（金）開催済

第4回初級ファシリテーター養成講座：1月26日 開催予定

中級ファシリテーター養成講座の開催を計画中である。受講資格は初級を受講済みであること。

さらに上級コースでは協働コーディネーターを養成する。

協働コーディネーターとは、参加型協働社会を拓く新しい職能である。

協働コーディネーターの役割は次の3つがある。1つ目はファシリテーター、2つ目はコーディネーター、3つ目は協働性の評価をするアセッサーである。

関心のある方の積極的な参加をお願いいたします。

以上